

クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2022年10月28日

ユーラシア個人向け小口融資事業者支援ファンド（25号～59号）

【ユーロ建て】ユーラシア個人向け小口融資事業者支援ファンド（60号～66号）

【円建て】ユーラシア個人向け小口事業者支援ファンド（1号～6号）

の運用状況につきまして

（2022年10月期）

投資家のみなさまにおかれましては、平素より格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。

掲題のファンドシリーズ各号（以下、「本ファンドシリーズ」といいます。）につきまして、運用状況をご報告申し上げます。

【本レポートの要旨】

<本ファンドシリーズの現状>

・ロシア軍がウクライナ侵攻を開始した2022年2月以降、その影響で、現時点でも返済再開時期の見通しが立っていません。さらに、戦争が長引くなかで4C Capital社（後述）の事業継続に懸念が生じる等の理由により回収率が大幅に低下する可能性があります。

<4C Capital 社グループの現状>

・エストニアグループ会社（後述）は4C Capital社より、ウクライナ・ロシア間の戦争を理由とするフォース・マジュール（不可抗力）の適用を求められるとともに、2022年5月期以降当面の返済が不能になる旨の連絡を受けました。

・4C Capital社は、戦争で正常な事業運営ができずに手元資金を消費する状況が続いており、財務内容を大幅に悪化させています。戦争終結の目途が立たない場合には4C Capital社の事業継続に懸念が生じる可能性があります。

1.出資対象事業の概況

ご投資いただいた出資金の用途

(i) 本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下「本営業者」といいます。）は、お客様にご投資いただいた出資金をクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社（Crowdcredit Estonia OÜ。以下「エストニアグループ会社」といいます。）に対して貸付けを行いました。

(ii) エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、キプロス共和国に籍を置く金融事業者である CC Continental City Capital Ltd（以下「4C Capital 社」といいます。）へ貸付けを行いました。

4C Capital 社グループの現状

(1) 事業活動地域

・4C Capital 社グループは、キプロスにグループの持株会社である 4C Capital 社を持ち、グループ中核企業のウクライナ法人（以下「4C Ukraine 社」といいます。）がウクライナで個人向けに短期ローン等を取り扱う金融事業を展開しています。

(2) 4C Capital 社グループを取り巻く状況

・2022年2月にロシア軍がウクライナ侵攻を開始して以降、4C Ukraine 社はウクライナの戒厳令のもとで個人向け貸付事業の停止を余儀なくされました。現在は、戦禍の影響が少ない地域で徐々に事業を再開していますが、その規模は従前との比較でごく小規模に留まり、正常化の目途が立たない状況です。

・また、4C Ukraine 社の既存顧客の多くが、避難を強いられるなどの戦争の影響を受けていることから、同社の貸出資産の相当部分が回収不能になるものと見込まれます。

・4C Capital 社グループ自体も、同社 CEO がウクライナ国外に避難するなどの対応を行っています。同社主要経営陣は健在のため、エストニアグループ会社は同社 CEO らと定期的にコミュニケーションを図り、業況把握に努めています。

(3) 4C Capital 社グループの財務状況

・4C Capital 社グループは、戦争の長期化により正常な事業運営が困難な状況が継続していることから、財務内容が大幅に悪化しています。金利収入の減少と貸出資産に係る貸倒関連費用の増加で赤字計上が続き、2022年度上半期決算で債務超過に転落しました。

・4C Capital 社グループはコスト削減に取組み支出を企業維持のための最低限に抑えていますが、手元資金を消費する状況が続き資金繰りが厳しくなっています。エストニアグループ会社以外の既存債権者にも債務の返済猶予を求めると同時に、株主や第三者等からの資金調達を模索しています。

今後の返済見通し

・エストニアグループ会社は、4C Capital 社より、ウクライナ・ロシア間の戦争を理由とするフォース・マジュール（不可抗力）の適用を求められるとともに、2022年5月期以降の返済が不能になる旨の連絡を受けました。

・持株会社である4C Capital 社の手元資金は、当面の事業継続のために最低限を残すのみとなっており、また中核企業の4C Ukraine 社は上記の通り何とか事業運営を続けていますが、ウクライナでは戒厳令のもとで国外への送金が規制されていることから、本ファンドシリーズの返済時期の見通しが立たない状況です。

・このような状況を踏まえ、当社は4C Capital 社経営陣と、4C Capital 社の株主に対する債権売却等の抜本的な出口策の交渉を行っています。

・戦争が長引くなかで4C Capital 社の資金繰りがさらに悪化すると、その事業継続に懸念が生じて回収率が大幅に低下する可能性があります。

本営業者は3か月に一回程度を目安に本ファンドシリーズの最新状況をご報告申し上げる予定です。ただし、本営業者の判断で、3か月を待たずにすみやかにご報告する場合がございます。投資家のみなさまにおかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号